

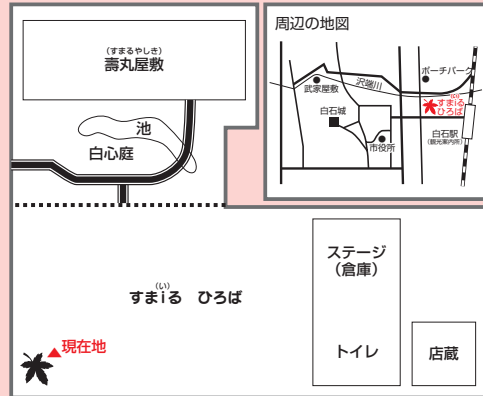
「すまいるひろば」をどんどん利用してください！

すまいるひろばは、白石市中心市街地活性化交流広場として、「イベント広場」と「寿丸屋敷」の2つ施設があり、イベントなどに利用することができます。利用料金は、下表のとおりで、利用の申し込みの受け付けと利用許可は、指定管理者である白石まちづくり株式会社が行います。

●利用料金表

区分	利用時間	利用の内容	単位	利用料金
イベント広場	6:00～ 23:00	舞台を使用し、広場全面積を利用するとき	1時間	940円
		舞台を使用し、広場の半分を利用するとき	〃	630円
		広場全面積を利用するとき	〃	630円
		広場の半分を利用するとき	〃	310円
寿丸屋敷	9:00～ 21:00	午前9時から午後1時まで	1部屋	1,050円
		午後1時から午後5時まで	〃	1,050円
		午後5時から午後9時まで	〃	1,050円

※利用者が入場料などをとってイベントを開催する場合は、2倍の額となります。



●イベント用貸し出し備品一覧

- 屋 台：5台（シンク、火気設備付き：2台・平台設備のみ：3台）
- 折りたたみ会議用テーブル：20台
- 折りたたみ椅子：50脚
- 台 車：2台
- テント：2張（白石北ロータリークラブ様より寄附）



▲屋台（右：シンク、各設備付・左：平台設備のみ）

貸し出しについては、白石まちづくり株式会社にお問い合わせください。

- 受け付け時間 毎週月～金 10:00～17:00
- 問い合わせ先 白石まちづくり株式会社（寿丸屋敷内） ☎25-6054

「すまいるひろば」の整備の概要



▲イベント広場

- 名称 すまいるひろば
- 所在 白石市字中町51
- 事業名 商業・サービス業集積関連施設整備事業



▲寿丸屋敷内の庭園

●施設概要

- イベント広場：802.75㎡
- イベント倉庫・ステージ：117.66㎡
- 公衆トイレ33.88㎡
- 総事業費 83,037,250円

今回の整備事業では、イベント広場などの整備とあわせて、寿丸屋敷の屋根改修および庭園の整備も行いました。

すまいるひろば整備のために、寄附をいただきました。



◆景石「白心」：1個
大森 久徳様



◆自然石ベンチ：2基
昭和38・39年中白中同年会様



◆キリシマツツジ・モミジ
片倉工業株式会社様



◆テント：2張
白石北ロータリークラブ様

商店街のにぎわい創出と市街地活性化の拠点

「すまいるひろば」がオープン

すまいるひろば表示板の除幕の後、風間市長とご来賓の皆様によるテープカットが行われ、寿丸屋敷と一体となったイベントを開催できる環境が整い、今まで以上に幅広いイベントの開催が可能となりました。

式典終了後、白石中学校、東中学校、福岡中学校合同吹奏楽団による演奏や、ひかり幼稚園児による踊りなどのほか、屋台やフリーマーケットにぎわいました。



旧高基跡地に整備を進めてきた商店街のにぎわい創出と市街地活性化の拠点「すまいるひろば」が完成し、4月3日に落成イベントが行われました。

落成式では、「すまいるひろば」の名付け親の安藤亮子さんに、風間市長より感謝状が贈呈されました。

次いで、すまいるひろばの管理運営を行う白石まちづくり株式会社との指定管理者協定書の調印が行われ、吉見代表取締役と風間市長が協定書に署名を行い、にぎわい創出への第一歩を踏み出しました。

▶感謝状の贈呈を受ける安藤さん



この命名には、「すまる」の名をどこかに残しながら、親しみやすい名前にしたという思いと、笑顔が集まる場所ということによって、表現したものです。

命名の思いのとおり、笑顔があふれる商店街を目指して、これからさまざまなイベントが開催されます。そのイベントを通じて、たくさんの「にぎわい」をみんなの手で創りだしていきたいでしょう。

「すまいるひろば」と命名されました

昨年十一月号の広報で名称の募集を行い、十四名の市民の皆さんから二十六名の名称が応募されました。

選考委員会を設置して選考した結果、安藤亮子さんから応募いただいた、「すまいるひろば」に決定しました。

白石まちづくり株式会社と指定管理者協定書の調印



すまいるひろばの管理運営については、白石まちづくり株式会社と指定管理者の協定を締結し、これから商店街のにぎわいの創出のため事業を行うほか、施設の利用申し込み受け付けや、施設の管理業務を行っていきます。

代表取締役の吉見光宣さんは、「この施設の活用のため、皆さんのアイデアを活かすお手伝いをしていきます。この施設の活用例として、四月の毎週日曜日に、イベントを開催しましたが、活用方法はたくさんあると思いますので、皆様のご利用をお待ちしております。」と語り、これからは隣接する「店蔵」の活用方法についても検討し、すまいるひろばという名にふさわしい、にぎわいと笑顔があふれる施設を目指します。